

令和2年度 アーツカウンシル新潟 成果検証について

○人員：7名（プログラムディレクター1名、プログラムオフィサー5名、スタッフ1名）
 ○予算：46,882千円（人件費38,107千円、事務費・事業費4,275千円、助成金4,500千円）

資料6-②

アーツカウンシル新潟 目標（目指す方向）	実施方法 (Activities) 令和2年度	直接の結果 (Outputs) (令和3年3月31日現在)	事業の成果 (Outcomes) 【短期/個人/意識】 (H29~R1)	事業の成果 (Outcomes) 【中期/周囲の人々/状況】 (R2~R3)	事業の成果 (Outcomes) 【長期/地域/結果】 (R4~R8)	成果指標 (課題の解決/振興に向けた変化)	成果検証 (達成状況/課題)
1. 新潟の多様な主体との協働による文化創造交流都市の実現	・新潟市文化行政への支援、連携 ・新潟市文化行政以外の部署、機関への支援、連携	・文化関連各課からの相談、調整(15件) ・文化関連各課の部署、機関の会議への出席数、シンポジウム等への登壇(5件) ・文化関連各課の事業に対する評価・提言(コロナ対策事業の改善及び検証について) ・文化関連各課との協働による事業の実施(コロナ補助金事業) ・文化芸術活動の実施に関する新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン原案作成 ・ゆいぽーとアーティスト・イン・レジデンス事業選定委員会(作家選定) ・文化プログラムの推進: beyond2020の認証(8件) ・文化芸術による共生社会推進事業ともにアートプロジェクト(歌作りワークショップ・絵画展示)への協力	・市の文化関連各課での周知が全員に行きわたっており、各課がアーツカウンシル新潟に気軽に相談することができている	・市の文化政策の立案から事業実施までのプロセスに相談、助言、提案等を通じて関与している ・市の文化政策に対してアーツカウンシル新潟による事業評価が実施され、反映されている	・市の文化行政において、アーツカウンシル新潟の重要性が認識され、文化芸術分野のシンクタンクとして文化関連各課によってアーツカウンシル新潟が活用されている	文化行政におけるアーツカウンシル新潟の成果 ○文化関連各課との相談、調整件数の増加 【実績】H29: 24件 H30: 36件 (長期) 36件 【実績】H29: 30件 H30: 24件 R1: 32件 R2: 15件 ○R2新潟市文化芸術活動再開支援業務相談窓口コロナ関連相談185件 ○文化関連各課の部署、機関の会議への出席数、シンポジウム等への登壇数の増加 【実績】H29: 3件 (中期) 4件 (長期) 4件 【実績】R1: 10件 R2: 5件 ○政策提言・改善提案の実施、反映 【実績】 ・コロナ対策事業の改善及び検証→文化各課で検討し、次年度の実施の改善に繋がった ○アーツカウンシルによる事業評価が文化政策に活かされる仕組みができていく 【実績】 ・(短期) 評価の枠組みの策定 ・(中期) 評価の実践 ・(長期) 評価サイクルの定着 【実績】 ・ビジョンの取組状況に係るヒアリングの結果、評価を意識した取り組みが希薄であることが判明し、新ビジョンの策定とその方法について提案した。→R3年度実施のビジョン策定(計画)につながった	・市のコロナ禍における文化芸術活動再開支援事業において、事前調査を実施し、企画立案から事業実施に係る相談、助言、提言を行った。 ・現ビジョンにおける事業評価に関するヒアリングを通じ、顕在化した問題点を新ビジョン策定に活かす提案を行い、その検討が進んでいる。 ・ビジョンのヒアリングや相談等を通じ、福祉分野など一部の部署との関係づくりや関与は少しずつ進んでいるが、それ以外の部署とはまだ気軽に相談できる関係には至っていない。 ・福祉分野と連携し、障がい者の表現活動調査やアート作品の展示など、文化芸術による共生社会推進に向けた新たな取り組みをスタートさせた。
・市内の文化芸術団体等への支援、連携	・市内の文化芸術団体からの相談(82件) ・市内の文化芸術団体への助成(ステップアップ1件、基盤3件、活動4件) ・地域団体、文化芸術団体等の会議への出席数、シンポジウム等への登壇(1件) ・「語りの場」の開催(7回) ・新潟市新型コロナウイルスに関する文化芸術相談窓口の設置 ・市内新型コロナウイルスに関する相談件数(185件) ・基盤助成取組レポート作成及び配布	・市内の文化芸術団体に認知されており、文化振興や関連分野との連携した活動について気軽に相談することができている ・市内の文化芸術における問題を抽出し、可視化・顕在化することができている	・地域の文化芸術活動の自律に向けた助言や支援が進められている ・市内の文化芸術団体がアーツカウンシル新潟の活動を理解することにより、文化芸術活動が社会課題解決に結びつくことが認知されている ・アーツカウンシル新潟を活用することにより、文化振興や関連分野団体間の連携が進められている	・アーツカウンシル新潟が支援した文化芸術団体が自主的に活動し、文化芸術活動の振興に寄与している ・市内の文化芸術団体に文化芸術活動支援の組織として認知、信頼されている ・文化芸術活動が地域の課題解決に結びついている	市内の文化芸術活動の基盤、環境づくりへの成果 ○市内文化芸術団体との相談、調整件数の増加 【実績】H29: 200件 (中期) 230件 (長期) 250件 【実績】H29: 197件 H30: 105件 R1: 156件 R2: 82件 ※R2はこのほか、コロナ関連相談185件 ○市内文化芸術団体との関係構築 ＜基盤助成採択団体数＞ 【実績】H29: 8団体(中期) 12団体(長期) 15団体 ○文化芸術団体に必要な情報やアドバイスが提供されている(資料、ネットワーク、ノウハウ等) ＜相談窓口件数＞ 【実績】H29: 20件 (中期) 35件 (長期) 45件 ○地域団体、文化芸術団体等の会議への出席数、シンポジウム等への登壇数の増加 【実績】H29: 5件 (中期) 6件 (長期) 8件 ○支援された団体、人材が地域で活躍している 【実績】 ・基盤助成採択団体(デザイン)が商工会議所のデザイン相談窓口になった	・コロナ禍により、一般相談や助成採択件数は減少したものの、代わりにコロナ関連の相談窓口を開設し、数多くの相談業務を行いつつ、文化芸術団体の支援に繋がった。また市内の文化芸術団体により認知を広げるために、自ら地域に出向き、存在を知ってもらう努力が必要と考える。 ・助成事業や語りの場を通じ、文化芸術活動を社会課題の解決につなげる意識の醸成を行って来ているが、認知はまだ十分とは言えない。 ・助成利用団体が事業を通じ、他団体と連携をスタートさせるなど、アーツカウンシルを活用することで、団体間の新たな連携につながっている。	
・その他の主体への支援、連携	・県、その他団体からの相談、調整(3件) ・県および企業等の会議への出席数、シンポジウム等への登壇(5件) ・新潟県文化芸術専門相談窓口業務 ・企業その他団体との連携(3件) ・市外新型コロナウイルスに関する相談件数(36件)	・市内の企業や団体の関連部署の担当者へ認知されており、相談を受けている ・市の広域連携においてアーツカウンシル新潟の存在が認知されている	・社会課題解決に文化芸術活動を使うことが市内企業や団体の担当者へ理解されている ・市の広域連携においてアーツカウンシル新潟の役割が理解されており、関与している	・市内の文化芸術団体の支援のために市内の企業からの支援がされている ・市の広域連携において要請に応じて支援、連携している	広域および多様な主体との連携体制構築への成果 ○アーツカウンシル新潟を中心とした新潟市との広域連携における県内自治体のネットワークの構築 【実績】 ・文化活動における感染対策説明会への後援(佐渡市教育委員会、新潟市教育委員会、公益財団法人長岡市芸術文化振興財団、公益社団法人全国公立文化施設協会) ○県および企業等の会議への出席数、シンポジウム等への登壇数の増加 【実績】H29: 5件 (中期) 6件 (長期) 8件 【実績】R1: 7件 R2: 5件	・文化芸術活動が社会課題解決にも活用できることについて、市内企業や団体に広く理解されているとまでは言えない。 ・県からコロナ関連を含む文化芸術相談窓口業務を受託し、県内各地での相談会等を通して、市外の団体等からもアーツカウンシル新潟の役割が理解され始め、関与も始まっている。	
2. 持続的・自律的な組織体制の確立	・運営基盤の確立、適切な人材確保に向けた取り組み ・人育成の実施(外部研修への参加6件)	・適切な専門人材の確保(PD1名、PO5名、スタッフ1名) ・人育成の実施(外部研修への参加6件)	・適切な専門人材が確保されている ・自主財源の確保に伴う人材育成体制の確立	・地域の現状に寄り添った支援ができるPOの雇用、育成がなされている ・文化施設、高等教育機関にアーツカウンシル新潟の活動内容が認知されている	・地域活動への支援方法を理解、確立し、先駆的な地域アーツカウンシルとして注目されている ・アーツカウンシル新潟のPD、POの役割が広く認識されている ・市内の文化施設、高等教育機関との連携体制が構築されている	適切な専門人材の確保と人材育成体制の確立による運営基盤の確立 ○適切な専門人材が常に確保されるとともに、アートマネジメント人材の活躍の場として魅力的な存在となっている 【実績】 ・専属カンパニーの今後の運営方針、社会包摂事業、コロナ補助事業の検証、市民プロジェクト、市民茶会の運営方針など、市の文化担当課の展開が停滞している事業について改善策を指摘し、提案を行うなど、行政への助言提案を積極的に行なった。 ○PD、POIに対する研修機会の提供、充実 【実績】 ・クリエイティブ・スコットランド Lorna Duguid氏を招いた 日英文化芸術支援機関の意見交換会 ・「公演等再開に向けた取り組みについて」連続公開ヒアリング「みんなどうやって再開してる？」 ・実演芸術連携交流事業 専門人材向けセミナー「ネット配信やリモート事業における著作権②③」 ・デザイン思考で新たな視点「公開デザイン相談会」付き・特別オンラインセミナー ・展示会×デザインで顧客獲得！～商品の魅力を最大限に伝えるためには～ ・「iBokkeShif 老いと演劇」オンラインワークショップ 全3回シリーズ ・アーツカウンシル前橋「文化芸術市民会議」	・市の施策に関連する異なる専門性を持ったPOの雇用及び育成が行われており、市の文化行政に対する助言、提案等の支援に結びついている。 ・文化施設に対しては、アーツカウンシル新潟の活動内容が認知されてきたが、高等教育機関には認知が進んでいないとまでは言えない。
・財政基盤の確立に向けた取り組み	・WAONカードの発行、販売 R2年度6,298枚、累積12,054枚 ※R3.3.31時点 ・外部受託業務の受注(2件)	・外部業務の受託 ・財団の寄付受入制度の確立、企業・個人からの寄付の実現	・外部業務の受託 ・市からの受託金額の増加(アーツカウンシル運営費以外) ・寄付金額の増加	・国・県レベルの受託の増加 ・寄付金額の増加 ・外部の助成、補助制度の活用	自主財源の確保による安定的な経営基盤の確立 ○寄付による自主財源の確保 ＜寄付金額＞ 【実績】H29: 150,000円(中期) 300,000円(長期) 500,000円 【実績】R1: 51,023円 R2: 326,417円 R3: 881,750円 ＜外部業務受託＞ 【実績】 ・アーツカウンシル・ネットワークに関する運営業務委託(独立行政法人日本芸術文化振興会)事務局業務 ・新潟県文化芸術専門相談窓口業務(新潟県)	・自主財源確保につながる外部業務を受託しているほか、市からもAC運営費以外にコロナ支援に係る業務を受託した。 ・「いいがたBUNKA WAON」の発行数が順調に伸び、寄附額も当初目標に比べ大幅に増加した。	
・アーツカウンシル新潟のプレゼンスの向上に向けた取り組み(全国組織との連携、知名度の向上)	・自治体等視察、ヒアリングの受け入れ(6件) ・市内内外の会議やシンポジウム等への出席、登壇(10件) ・メディア掲載(14件) ・ホームページ、SNS(Facebook、Twitter、Instagram)による情報発信 ・アーツカウンシル・ネットワークに幹事団体として加入(他幹事団体: アーツコミッション・ヨコハマ、アーツコンソーシアム大分)	・わが国の文化行政において、地域アーツカウンシルの先駆的な事例として、文化芸術の専門家に認知されている ・自身のメディア媒体を通じた、アーツカウンシル新潟の活動の発信によって、認知度が向上している ・地域の活動や状況についてのリサーチが進められている	・全国の地域アーツカウンシルのモデルとして、取り組みが認知されている ・自他の報道媒体を用いた情報発信によって、認知度が向上している ・地域の活動や状況についての情報が公開されている	・報道媒体から、アーツカウンシル新潟が信頼を得ている ・地域の活動や状況についての情報が市民および地域活動団体に活用されている	地域アーツカウンシルのあり方を示す ○全国ネットワークが構築されるなか、地域アーツカウンシルのあり方としてアーツカウンシル新潟の方針が目玉されている ＜視察受入れ、ヒアリング受入＞ 【実績】R2: 埼玉県、長野県文化振興事業団、京都市、大阪府立大学 ＜市内内外の会議やシンポジウム等への出席、登壇回数＞ 【実績】H29: 14件 (中期) 18件 (長期) 23件 【実績】R1: 23件 R2: 10件 ○メディア等へアーツカウンシル新潟の取組みが紹介される 【実績】H29: 2件(中期) 4件(長期) 4件 【実績】H29: 14件 H30: 3件 R1: 5件 R2: 14件 ○アーツカウンシル新潟公式ホームページのビュー数増加 【実績】H29: 25,000回(中期) 27,000回(長期) 40,000回 【実績】H29: 55,821回 H30: 51,531回 R1: 35,147回 R2: 47,078 回 ○アーツカウンシル新潟公式SNSのフォロー数増加 【実績】H29: 1,000件(中期) 1,500件(長期) 3,500件 【実績】H29: 580件 H30: 646件 R1: 818件 R2: 1,015件	・これまでCCNJやアーツカウンシル・ネットワークの事務局業務のほか、全国の様々な団体の視察受入等を通じ、全国の様々なアーツカウンシル等に対し、地域アーツカウンシルのモデル的な取り組み例として認知されている。 ・コロナ支援に係る取り組みがメディアに複数回取り上げられたほか、コロナ関連の相談業務等を通じ、認知度は向上してきている。 ・SNSを中心に、支援団体等の活動状況等について情報発信を行っているが、HPにおける情報発信の仕方、見せ方にはまだ改善の余地があると考えられる。	